

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-13794(P2006-13794A)
【公開日】平成18年1月12日(2006.1.12)
【年通号数】公開・登録公報2006-002
【出願番号】特願2004-186738(P2004-186738)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月1日(2007.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一ユニットと第二ユニットとを連結するヒンジであって、
前記第一ユニットに固定される第一部材と、
前記第二ユニットに固定され、前記第一部材に揺動自在に連結される第二部材と、
前記第二部材に設けられ、前記第一ユニットと前記第二ユニットとを電氣的に接続する
ケーブルを係止し、前記第二部材とともに揺動する係止部と、
を備えることを特徴とするヒンジ。

【請求項2】

前記第一ユニットから引き出された前記ケーブルの前記係止部に係止される部分のうち
前記第一ユニットに最も近い部位は、前記第一部材または前記第二部材のいずれか一方に
軸受けされる揺動軸の外周面を含む仮想円筒内に位置することを特徴とする請求項1に記載
のヒンジ。

【請求項3】

前記第二部材に設けられ、前記ケーブルを覆う第一カバー部と、
前記第一部材に設けられ、前記ケーブルの前記第一ユニットから引き出されてから前記
係止部に係止されるまでの部分のうち前記第二部材の揺動範囲内で前記第一カバー部から
露出する部位を覆う第二カバー部と、
を更に備えることを特徴とする請求項1または2に記載のヒンジ。

【請求項4】

第一ユニットと、
第二ユニットと、
前記第二ユニットに前記第一ユニットを揺動可能に連結する第一連結部と、
前記第一連結部の揺動軸線と同一の揺動軸線を中心に揺動可能に前記第一ユニットを前
記第二ユニットに連結する第二連結部と、を備え、
前記第一連結部は前記第一ユニットの揺動を制動する制動手段を有し、
前記第二連結部は請求項1から3のいずれか一項に記載のヒンジであることを特徴とす
る電子機器。